

# FTTH工事における事業者間連携による 工事削減の検討状況について

2021年6月9日

K D D I 株 式 会 社  
ソフトバンク株式会社  
株式会社NTTドコモ  
東日本電信電話株式会社  
西日本電信電話株式会社

# 1. はじめに

- 競争WG2020報告書において、FTTH回線の「事業者乗り換え時のスイッチングコストに関する事項」として、

- 2019年7月には、「事業者変更」により、光コラボ事業者間での乗換えの際の工事が不要となるなど、事業者間の連携により工事自体を不要とする取組も行われている。
- 事業者間の連携による工事自体の削減については、NTT東日本・西日本、KDDI、NTTドコモ及びソフトバンクの5社において戸建の引込み線工事を不要とするための協議を実施している旨の説明があった。さらに、KDDIからはこの協議の結果、2021年度早々に導入したい旨の説明があったところであり、早期に実現されるよう協議の状況を注視していくことが必要である。また、協議を行っている5社においては、利用者のスイッチングコスト低減の観点から、他の光コラボ事業者や接続事業者等が希望する場合にはその事業者も含めて工事の削減に係る対応が可能となるよう取り組むことが適切

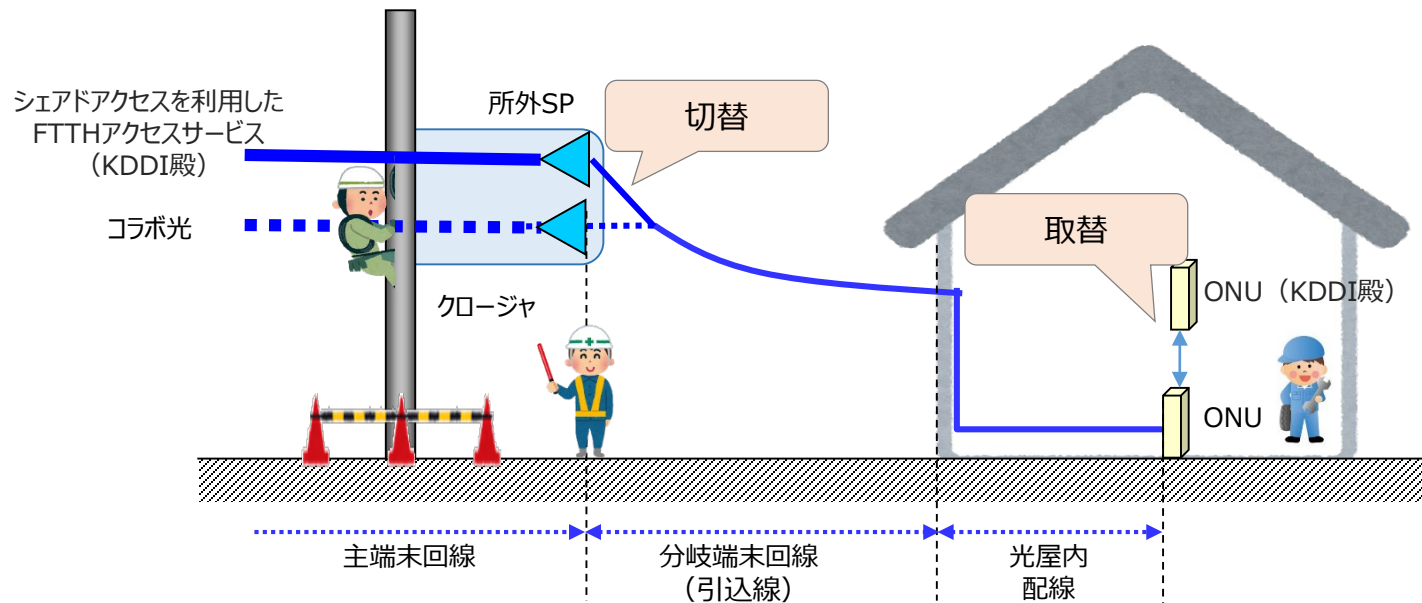
との整理がなされたところです。

- 本日は5社において検討している、光コラボにおけるFTTH回線（以下、「コラボ光」）とシェアドアクセス方式におけるFTTH回線（以下、「シェアドアクセス」）の引込線転用スキームについて、検討内容や課題及び今後の見通し等をご説明いたします。

## 2. 検討状況①

- コラボ光とシェアードアクセス間での引込線転用においては、下図の通り「所外SPの切り替え」及び「ONUの取替え」が発生します。

<KDDI殿のFTTHアクセスサービスとコラボ光間の転用工事イメージ（戸建）>



- この際、新設事業者と廃止事業者の間で、お客様の受付内容を確認し、それぞれに必要な対応を同期をとって行う必要があります。そのための方針について、まずは5社（KDDI殿・ソフトバンク殿・NTTドコモ殿・NTT東西）にて協議を行っております。  
（2020.3から協議開始、2021.3時点で計10回の協議を開催）

## 2. 検討状況②

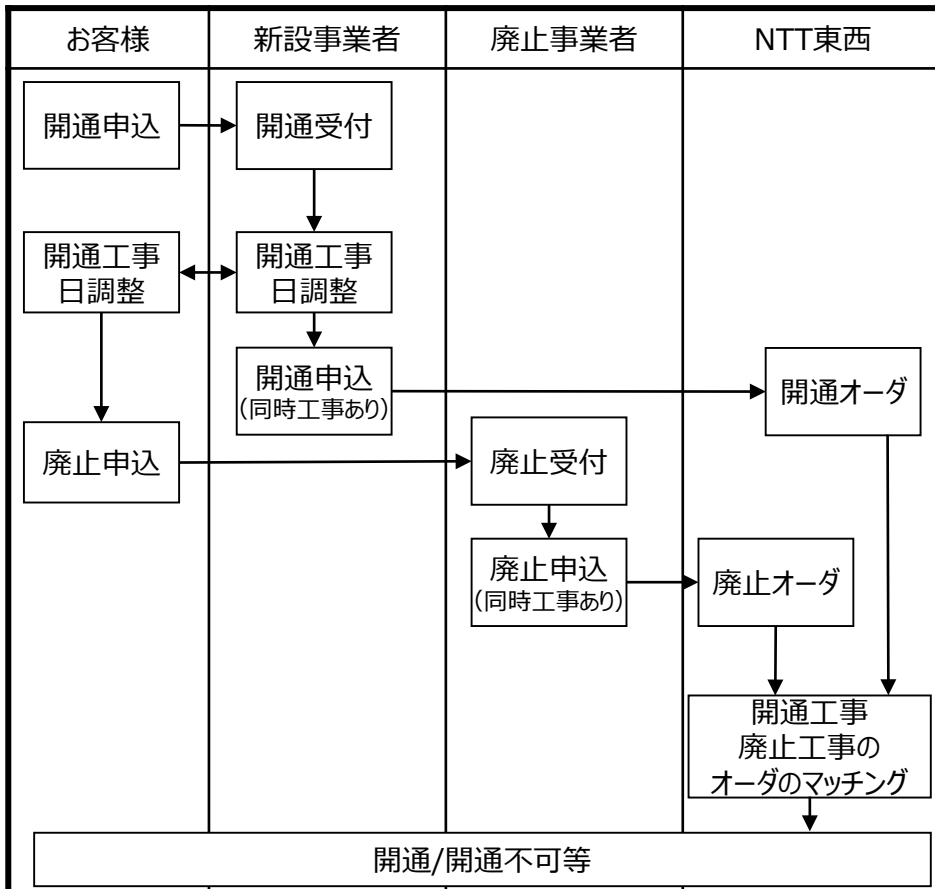
・協議において、事業者間での連携を実施する方式として、大別すると、

案1：フレッツ光とKDDI殿シェアドアクセス方式間での「同時工事」スキームをベースとする案

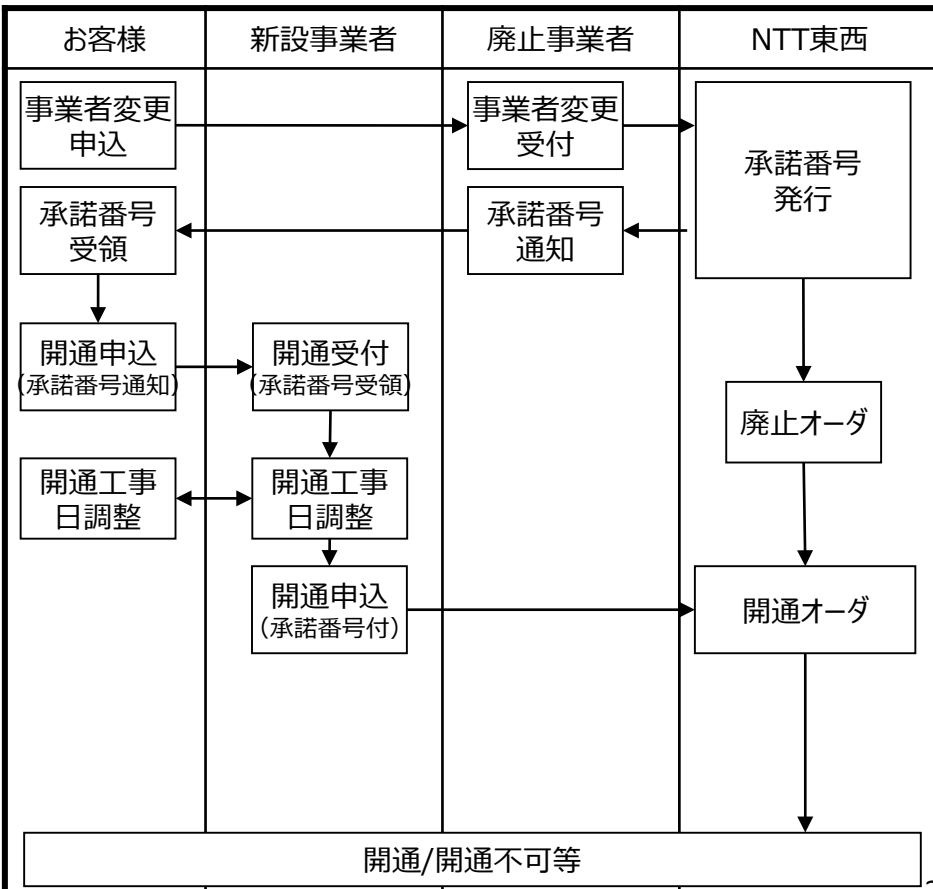
案2：コラボ事業者間での「事業者変更」スキームをベースとする案

の二つの方向性が考えられたため、両案について、コラボ光・シェアドアクセス方式間を跨る連携に必要な改良点について洗い出しを行い、二案ともにスキームの大枠を整理したところです。

【案1】現行のフレッツ-シェアド間の引込線転用スキーム（概要図）



【案2】現行のコラボ間の事業者変更スキーム（概要図）



### 3. 検討状況③

- 案1、案2について、そのいずれを採用するかを決めるにあたっては、各社における開発規模（期間・費用等）を検討した上で、事業者間で比較検討を行う必要となります。
- 二案の大枠を整理して以降、まずは引込線の転用が実際に行われている案1の詳細検討を行い、各社検討の前提となる条件を具体化していくことを行っております。
- まず、検討の前提として、引込線転用においては、設備切替に伴い通信断が発生するという特徴があることから、法人のお客様等で通信断が許容できない方も考慮すると、お客様からの引込線転用の意思に基づいて実施することで認識を合わせています。

- その上で、案1における詳細検討としては、基本となるケースを議論した上で、イレギュラーとなるケースを検討すべく、以下のようなステップを踏んで議論を進めております。
  - <STEP1> お客様のご要望内容が新設事業者、廃止事業者とも一致するケース
  - <STEP2> お客様のご要望内容が新設事業者、廃止事業者で不一致となるケース
  - <STEP3> その他検討が必要な事項

# (参考1) STEP1についての検討概要

<STEP1> お客様のご要望内容が新設事業者、廃止事業者とも一致するケース

お客様と確認を要する事項として以下の項目について、概ね認識が一致

## (1)「事業者名称」、「サービス名称」

- ・コラボ光とシェアドアクセスでサービス提供エリアが違うこと
- ・KDDI殿においては、シェアドアクセス以外のFTTH回線を提供されているケースがあることから、引込線転用をお客様にご案内してよいかどうかを判断するため

## (2)「契約者名」、「設置場所住所」、「工事当日の連絡先電話番号」、「工事希望日」

- ・新設と廃止注文をマッチングし、新設側の注文で引込線設備を特定するキーとなるため

### 継続検討事項

#### ①お客様の新設・廃止の申込順序性の決定

- ・電話番号の継続の可否やマッチングを確実にするため順序性を設けるか検討が必要

#### ②新設・廃止注文のマッチング条件の追加

- ・上記(2)以外にマッチング率を向上できる共通のヒアリング項目がないか検討が必要

## (参考2) STEP2・3についての検討概要

<STEP2> お客様のご要望内容が新設事業者、廃止事業者で不一致となるケース

- ・お客様へのヒアリング項目は<STEP1>と同じであること
- ・不一致かどうかを確認するための仕組みとして、NTT東西のシステム上でマッチング状態が閲覧できるようにすることが必要

との認識で一致

### 継続検討事項

- ① 不一致のケースにおいて、引込線転用工事の再調整を必須とするか
  - ・再調整による新設や廃止の希望時期のズレや長期化の影響を考慮した検討が必要

<STEP3> その他検討が必要な事項

### 継続検討事項

- ① お客様意思によらない申込に基づく引込線転用工事があった場合の対処
  - ・切り戻しのための特別手続きを設けるかどうかの検討が必要
- ② 引込線転用を実施する場合の最短工事日程
  - ・新規と廃止注文のマッチングを工事日の何日前までに実施するかを考慮することが必要

## 4. 今後の検討の進め方

- 今後はより実務的な検討を進め、案1についての継続検討事項の整理を図るとともに、案2について同様の検討を行い、利用者利便性の観点等から、比較検討を行う考えです。
- 現時点、案1は、ベースとなるフレッツ光とKDDI殿シェアドアクセス方式間のスキームが、「所外SPの切り替え」及び「ONUの取替え」が発生する点で近しく、運用における検討課題・システム開発が少ないことや、承諾番号を利用者が覚えることが不要という特徴があることを想定しています。
- 一方で、案2は、対象事業者に応じて「所外SPの切り替え」及び「ONUの取替え」の発生有無をパターン分けする仕組み・フローを建て付ける必要があり、運用における検討課題・システム開発が大きくなることが想定されますが、コラボ事業者間の「事業者変更」スキームの対象事業者として、シェアドアクセス事業者も対象とできる点において、お客様から見て統一的なご案内が可能になる特徴があることを想定しています。
- なお、案1、案2のいずれにおいても、以下の事項について整理が必要となることから、今後総務省殿にも相談しながら検討を進め、なるべく早期に実現方式を決定していく考えです。

- ① 引込線転用を適用するコラボ・シェアド事業者の範囲は任意とするか、全社必須とするか
- ② 実現にあたり各社で必要となるシステム開発費をどのように回収するか
- ③ 上記①②の内容等のルール化をどのように実施するか



# (参考) 案1・案2の比較 (大枠整理時)

| 項番         |               | 案1 : 「同時工事」スキームベース<br>※コラボ事業者変更は現行スキーム維持  |                       | 案2 : 「事業者変更」スキームベース   |                       |
|------------|---------------|---|-----------------------|---|-----------------------|
|            |               | コラボ光<br>↓<br>シェアドアクセス   | シェアドアクセス<br>↓<br>コラボ光 | コラボ光<br>↓<br>シェアドアクセス   | シェアドアクセス<br>↓<br>コラボ光 |
| お客様目線でのフロー |               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレッツ⇔コラボ光、コラボ光⇔コラボ光</li> <li>・フレッツ⇔au光、コラボ光⇔au光</li> </ul> の事業者変更スキームがお客様目線で異なる |                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレッツ⇔コラボ光、コラボ光⇔コラボ光</li> <li>・フレッツ⇔au光、コラボ光⇔au光</li> </ul> の事業者変更スキームがお客様目線で統一できる |                       |
| 主な運用課題※    | 承諾番号処理        | -   | -                     | ●   | ●                     |
|            | au光提供エリア判定    | ▲   | -                     | ●   | -                     |
|            | 新設・廃止の設置場所の突合 | ●   | ●                     | ●   | ●                     |
|            | 現行の運用への影響     | -   |                       | au光⇔フレッツ光運用に大きな影響あり   |                       |
| 開発規模       | NTT東西         | 中   |                       | 大   |                       |
|            | KDDI          | 小   |                       | 大   |                       |
|            | ドコモ           | 大 (実現内容による)   |                       | 中 (実現内容による)   |                       |
|            | ソフトバンク        | 大   |                       | 中   |                       |

※2020/11/30時点での運用課題

【5社間協議資料より抜粋】

# 今後のスケジュール

- 5社協議にてより実務的な検討を進め、半年を目途に両案の評価を行い、採用案の決定
- 上記採用案について、5社以外のシェアド・コラボ事業者への本スキームへの参加を働きかけ
- 参加事業者を確定次第、速やかにシステム開発に着手し早期のスキームの実現を目指す

|      | 2021年度   |    |    |    | 2022年度            |  |    |    |  |
|------|--|----|----|----|-------------------|--|----|----|--|
|      | 1Q   | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q                | 2Q   | 3Q | 4Q |  |
| 事業者  | <p><b>&lt;5社協議&gt;<br/>スキーム検討<br/>評価・採用案の決定</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                     案1、2<br/>                     詳細フロー検討<br/>                     ・正常フロー<br/>                     ・準正常フロー等の検討                 </div> |    |    |    | 他事業者への呼びかけ／参加可否確認 | <p><b>システム開発<br/>着手～リリース</b></p> <p style="text-align: right;">※前倒しも検討</p> |    |    |  |
| 総務省殿 | <p>随時意見照会</p> <p style="text-align: center;"><b>ご検討・評価</b></p>   |    |    |    |                   |  |    |    |  |